

第76回卒業式 学校長のことば（式辞）

本校の前庭、三枝園の木々のつぼみもほころび始め、春の息吹が感じられるこの佳き日に、多数のご来賓の方々、保護者の皆さまをお迎えして、神奈川県立上溝高等学校第76回卒業式を挙げていただけますことは、卒業生はもとより在校生、教職員にとりまして大きな喜びでございます。

本日、ご臨席を賜りました皆さま方には、日ごろから本校の教育に深いご理解と温かいご支援をいただき、さらには巣立ちゆく卒業生の門出にあたり、前途を祝していただきますことに心からお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました232名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうでございます。

皆さんは創立110周年という大きな節目の年である2021年（令和3年）4月に、高い志を持ち、夢と希望に胸を膨らませ、本校の門をくぐりました。以来、三年間、「獅子のごとく 勇気をもって進め 撫子のごとく 真心をもって歩め」の校是のもと、学習や学校行事、生徒会活動、部活動に全力で取り組み、クラスの友だちや仲間たちとの友情を育み、充実した高校生活を過ごしてきました。

そして、いよいよ、皆さんは本日の卒業を機に、「高校時代」というステージから、次のステージへと歩を進めていきます。大学や専門学校へ進学し、より専門的な勉強をする人、就職して社会人となり、経済的にも、精神的にも自立する人、その道はさまざまですが、未知の世界に対する不安と緊張感、そして自分で道を切り開いていくという高揚感とに包まれていることでしょう。

私から二つのことをお伝えします。

一つ目です。

「温かい思いやりの心を大切に、豊かな人間性を備えた人になってほしい」ということです。

今日、お渡しする「卒業証書」の始め、皆さんのお名前の横には、誕生日が書かれています。

皆さんは、その誕生日から今日まで生きてきました。今日までの事を振り返ってみてください。

どれほどの方に、どれほどのことをしてもらってきたでしょうか。

夜泣きをして、寝付かない時、ずっとあやしてくれたのは誰ですか。

朝、なかなか起きられない時、大きな声で起こしてくれたのは誰ですか。

入学式の時、制服やかばんを用意してくれたのは誰ですか。

風邪やインフルエンザで熱が出た時、心配してくれたのは誰ですか。

あなたの命が生まれた日から、たくさんの方々があなたを見守ってくれました。

人は、一人では生きていけません。さまざまな人間関係の中で生きています。困難にぶつかった時、人と人とのネットワークの中で解決されることも多くあります。人への思いや

りは、他の人を幸せにするだけでなく、自らも幸せにします。皆さんがこの上溝高校で培った仲間との友情を一生の宝として、より一層人間性豊かな人へと成長して行ってください。

皆さんには、「かけがえのない仲間」と「いつも皆さんのことを心にかけて、幸せを願っている人」がいるということを忘れないでください。

二つ目です。

「卒業証書」の真ん中には、皆さんが高等学校の課程を修了し、卒業したということが大きく書かれてあります。その日は、令和6年3月1日です。

人生の中で、いくつかの節目というものがあります。今日は、その節目の一つです。

次へのステップの節目なのです。高等学校を卒業したという意味を心の中に刻みこんでください。人生は節目があるからこそ、次の成長があるのです。

今日を境に、皆さんは新たなスタートをします。人生は、いよいよまさにこれからです。勇気と自信を持って、すばらしい人生を歩んでほしいです。

社会に出ると、自分の力ではどうしようもない事が起きます。頑張っても「どうしよう。」ということが必ずあります。壁にぶち当たるということです。

能登半島地震の直後、大学入学共通テストを控えた石川県立七尾高等学校で、生徒たちが、「大変だけれど、受験頑張ります。」と話す場面をテレビのニュースで見ました。教室後ろの黒板には、

国公立二次まであと、52日。

大学入学共通テストまで、あと8日。

キット！大丈夫！

キット！なんとかなる。 と書かれていました。

私は、この映像を見ただけで、涙が出てしまいました。

どんなに辛い時でも、苦しい時でも、キット！大丈夫です。キット！なんとかなります。決して、命を絶つなどというようなことを考えないでください。絶対に「生きる」という選択をしてください。問題は、自分の身体がないと解決できません。苦しいからといって逃げていては解決できない。弱くてもいいから、「生きる」という選択をしてください。

人の一生は、航海やマラソンにたとえられるように決して平坦なものではありません。次々と苦悩が生まれ、挫折や失敗は避けては通れないものです。

何度つまずいても、何度ころんでも、どんな壁にぶつかってもその経験が自分を強くしてくれると信じて、前に進んで行ってください。

終わりになりますが、保護者の皆さま方にはお祝いとお礼を申し上げます。本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。
お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆さまにはさぞや苦勞も多かったことでしょう。
今日の佳き日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。
教職員一同、心よりお喜びを申し上げます。
そして、今日まで、本校にお寄せいただきましたご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。また、本日、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆さまには重ねてお礼を申し上げ、今後とも本校の教育に益々のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

すばらしい生徒たちに出会えて幸せです。体育祭では多くの感動をいただきました。
ありがとう。
卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念いたしまして学校長のことば（式辞）いたします。

令和6年3月1日
神奈川県立上溝高等学校長 内田 勝久